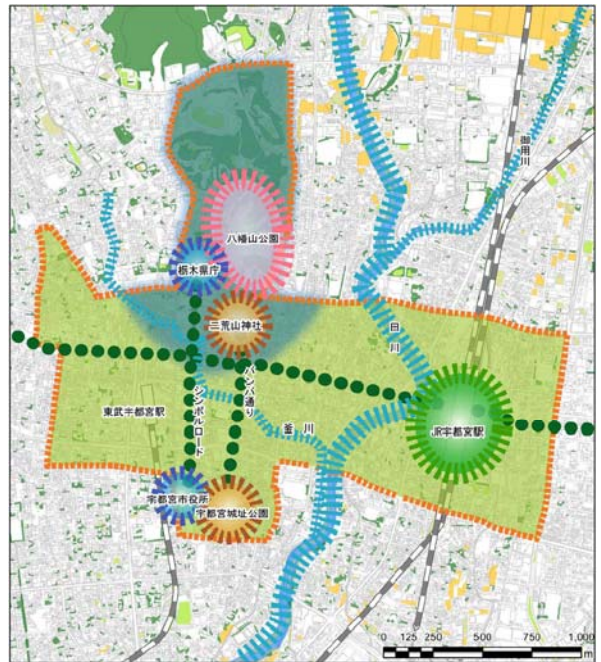


(8)第2次宇都宮市緑の基本計画(平成 23 年 3 月)

①緑の将来像と目標

- 基本理念：人とみどりのハーモニー うつのみや
- 基本目標：～ひとりひとりが緑をつなぎ 住みつけたいまちを目指して～
- 緑の将来像イメージ

・緑の将来像イメージは、「緑地保全」、「緑の拠点の整備」、「都市緑化の推進」、「緑の普及啓発」という第1次計画の視点に加え、緑の多様な機能のさらなる発揮を目指すために「緑のネットワーク形成」に関する視点を加えた5つのイメージによって構成されている。



まちの顔としての重点緑化拠点 (中心市街地の区域) 風の道形成に向けた緑化拠点 北関東玄関口重点緑化拠点 緑ネットワーク軸 緑化モデル拠点 花と緑の交流・レクリエーション拠点 歴史・文化の交流・レクリエーション拠点 水のネットワーク軸

■施策の体系

施策の体系において、将来像に向けた視点ごとに重点施策が示され、この重点施策を横断的に推進していくための6つのリーディングプロジェクトが示されており、本調査区域での市街地整備に関する緑地整備にあたっては「中心市街地の重点的緑化」、「バランスある公園配置」が特に関連する項目となっている。

【リーディングプロジェクト】

- ア. 中心市街地の重点的緑化
- イ. 都市の拠点の重点的緑化
- ウ. 都市農地(市街地近郊)や里山・樹林地の保全と活用
- エ. バランスある公園配置
- オ. 地域や場所の特徴を活かした公園や緑の維持管理
- カ. 市民協働によって緑を守り育てる仕組みづくり



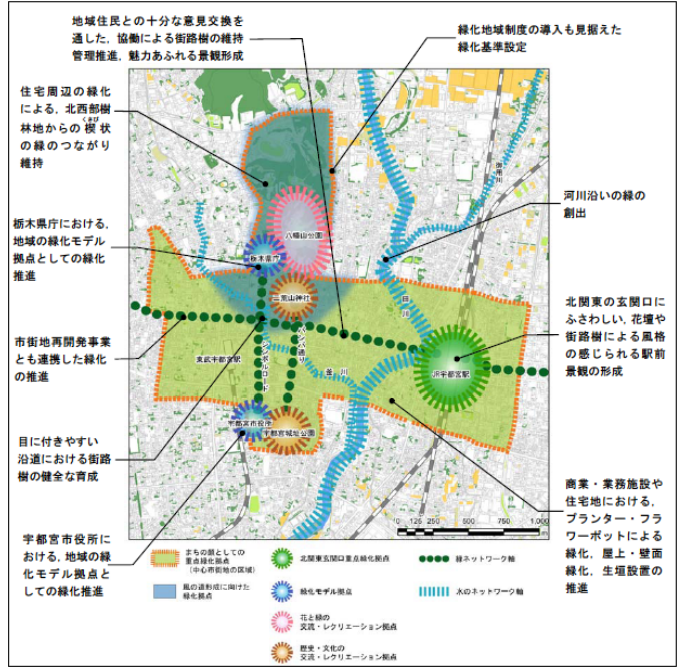
ア) 中心市街地の重点的緑化

- ・緑化地域制度導入等の緑化基準の設定を見据える。
- ・市街地再開発事業等の開発における十分な緑の創出
- ・景観形成重点地区での取組
- ・公共施設の防災の視点導入と地域の緑化モデル拠点としてのPR
- ・通行量が多い通りの街路樹の適切な維持管理と地元との協働
- ・屋上・壁面緑化や生垣設置, プランター・フラワーポットによる緑や花の演出推進

イ) バランスある公園配置

- ・公園整備の優先度が高い地域での新規整備
- ・市街地再開発事業等の進捗等も踏まえた多様な財源の確保方策検討
- ・既存公園の魅力向上と個性の創出
- ・ワークショップ形式等を活用した公園整備

中心市街地の緑の将来像図に基づく取組例

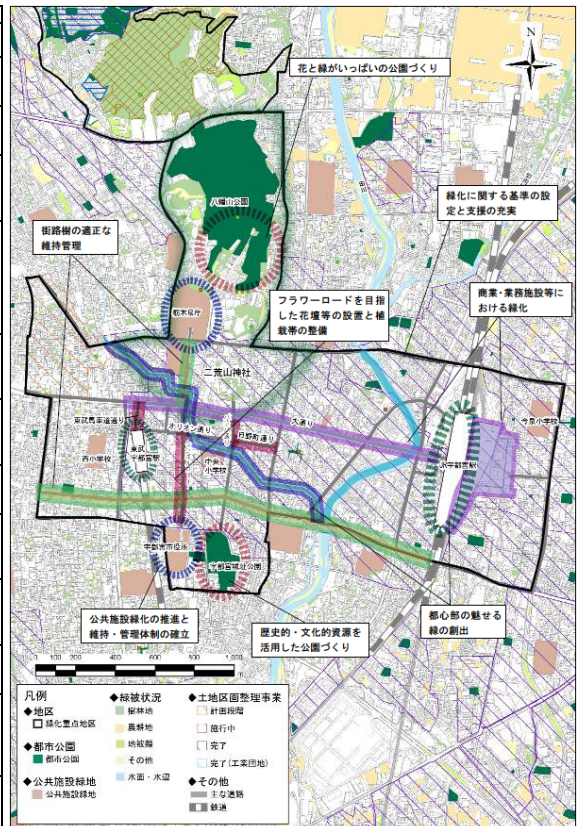


■ 緑化重点地区

緑化重点地区として、市内の6カ所が設定されており、調査区域に関連する部分としては、中心市街地の320haが設定されている。

取り組むべき施策

施策名	内容	実施主体				
		市民(個人)	市民(団体)	企業	学校	行政
『心』 『心』 『心』 『心』	花と緑がいっぱいの公園づくり	○	○	○	○	◎
	歴史的・文化的資源を活用した公園づくり	○	◎	○	○	◎
	中心市街地の憩いの場づくり	○	○	○	○	◎
	地域がつくり、地域に愛される公園づくり	◎	○	○	○	◎
『心』 『心』 『心』 『心』 『心』 『心』 『心』 『心』 『心』 『心』	公共施設緑化の推進と維持・管理体制の確立	○	○	○	○	◎
	都心部の魅せる緑の創出	○	○	○	○	◎
	フラワーロードを目指した花壇等の設置と植栽帯の整備	○	◎	○	○	◎
	街路樹の適正な維持管理	○	○	○	○	◎
	商業・業務施設等における緑化	○	○	◎	○	◎
	緑化に関する基準の設定と支援の充実	○	○	○	○	◎
	中心市街地内の未利用地における緑化	○	○	○	○	◎
	目を楽ませる花や緑の創出	◎	○	○	○	◎

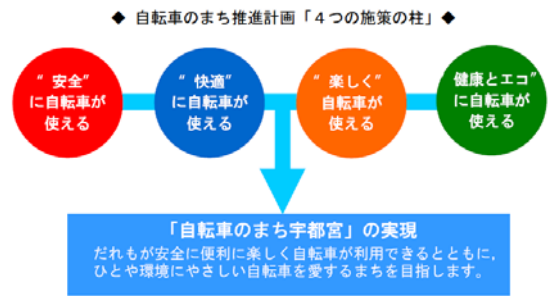




## (9)宇都宮市自転車のまち推進計画(平成 22 年 12 月)

### ①目標と将来像

- 基本方針として、「①交通手段としての利便性を高める」ことと「②自転車でまちの魅力を高める」ことを定め、4つの施策の柱をもとに「自転車のまち宇都宮」の実現を図ることとしている。



### ■基本方針

#### ア) 交通手段としての魅力を高める

自転車を交通手段の一手段として位置付けた現行計画の施策事業を推進

- 走行環境の改善
- 利用環境の改善
- 他の交通手段との連携強化 など



#### イ) 自転車でまちの魅力を高める

社会情勢の変化などを考慮して、新たな観点から施策事業を検討

- 健康度アップ・環境度アップ
- 新たなライフスタイルの提案
- 自転車目的の来街者を増やす など

### ■目標と施策体系

目標	4つの柱	施策事業	具体的な取組
<b>「自転車のまち宇都宮」の実現</b> だれもが安全に便利に楽しく自転車が利用できるとともに、ひとや環境にやさしい自転車愛するまちを目指します。	<b>目標Ⅰ</b> <b>だれもが“安全”に自転車が使える</b> ～安全性の向上～ ・ 自転車の走行にとって安全・安心な道づくりの推進 ・ 自転車のルール・マナーを守ることができる人づくりや自転車の安全を守る環境づくりの推進	(1) 自転車走行空間の確保 (2) 安全啓発活動の実施 (3) 安全を守る環境づくりの推進	◎ 新たな自転車走行空間の整備【 <b>拡</b> 】 自転車サインの整備【 <b>拡</b> 】 ◎ 交通安全教室等の継続・拡充【 <b>拡</b> 】 広報啓発活動の継続・拡充【 <b>拡</b> 】 安全安心な自転車用具の普及促進【 <b>拡</b> 】 交通安全施設の設置【 <b>継</b> 】 放置自転車対策の継続・拡充【 <b>拡</b> 】
	<b>目標Ⅱ</b> <b>だれもが“快適”に自転車が使える</b> ～快適性の向上～ ・ 自転車利用者が休憩できる空間の創出や公共交通（鉄道、バス、タクシー）との連携など、自転車利用がにつながる環境づくりの推進 ・ 自転車の特性を活かす利便性の高い駐輪場の整備	(1) 自転車利用のネットワーク化 (2) 新たな駐輪場の整備	◎ 休憩スポットの創出（自転車の駅）【 <b>新</b> 】 公共交通との連携強化【 <b>拡</b> 】 ◎ 鉄道駅周辺への駐輪場整備【 <b>拡</b> 】 バス停付近への駐輪場整備【 <b>拡</b> 】 短時間駐輪スポットの整備【 <b>新</b> 】
	<b>目標Ⅲ</b> <b>だれもが“楽しく”自転車が使える</b> ～観光やスポーツの推進～ ・ 自転車に乗りたくなるような環境づくりの推進 ・ 観光との連携やサイクルスポーツの振興による新たな自転車の魅力づくりの推進	(1) レンタサイクルの拡充 (2) スポーツ・観光等との連携 (3) プロスポーツとの連携	◎ 観光レンタサイクルの導入【 <b>新</b> 】 コミュニティサイクルの拡充【 <b>拡</b> 】 ◎ モビリティセンターの整備【 <b>新</b> 】 観光・サイクリングルートの創出【 <b>新</b> 】 ◎ 自転車マップの作成【 <b>新</b> 】 サイクリングロードの整備【 <b>拡</b> 】 商店街等との連携策の実施【 <b>新</b> 】 ジャパンカップのPRの実施【 <b>継</b> 】 自転車の普及促進イベントの実施【 <b>新</b> 】
	<b>目標Ⅳ</b> <b>だれもが“健康とエコ”に自転車が使える</b> ～健康の増進と環境保全～ ・ 市民の健康増進や地球にやさしいライフスタイルの推進	(1) 自転車通勤の推進 (2) 新たなライフスタイルの推進	モビリティマネジメントの実施【 <b>拡</b> 】 自転車通勤に関する職場環境の改善【 <b>新</b> 】 ◎ 自転車モニター事業の実施【 <b>新</b> 】
<b>「自転車のまち宇都宮」の推進</b>			<b>「自転車のまち宇都宮」のPR【<b>新</b>】</b>
<input type="checkbox"/> 計画期間中に（一部）実施する事業		<input type="checkbox"/> 計画期間中に検討し、実施を目指す事業	
◎ 重点事業 【 <b>新</b> 】 新規事業 【 <b>拡</b> 】 拡充事業 【 <b>継</b> 】 継続事業			

### ②施策事業の展開

- 各目標に応じて重点事業が定められており、本調査区域に係わるものとしては以下のものがあげられる。

### ■優先整備路線

優先整備路線の選定にあたっては、必要性の高い区間の抽出による上位路線や、自転車通行環境モデル事業実施路線の未整備区間のほか、自転車走行空間の連続性、整備の実現性、

自転車利用の促進性から 16 路線が選定されている。このうち調査区域では、次の 4 路線となっている。

- ・ユニオン通り（材木町通り～東京街道）
- ・オリオン通り（東京街道～バンバ通り）
- ・上河原町通り（天神 1 丁目交差点～JR 宇都宮駅前西口）
- ・いちよう通り（東京街道～中央通り、今小路通り～上河原通り）

優先整備路線位置図(中心部)



■ 鉄道駅周辺への駐輪場整備

- ・ JR 宇都宮駅周辺では、放置自転車解消等のため駐輪場の整備が重点事業に位置づけられ、整備が進められている。

■ 観光レンタサイクル

- ・ 観光やビジネス等の来訪者によるレンタサイクル需要の増加に対応するため、観光レンタサイクルの導入が重点事業に位置づけられており、平成 22 年 10 月より宿泊施設と連携したモデル事業として実施されている。

■ モビリティセンター

- ・ 自転車利用者が多く集まる中心市街地や駅へのモビリティセンター設置が重点事業として位置づけられている。平成 22 年度にモデル事業として「宮サイクルステーション」が整備され、具体的な整備内容や運営主体の検討が行われている。